

「見沼文化」と漆工芸

2007年 10月 8日 (祝) 午前 10:00 ~16:30 (会場 9:30)

さいたま市緑区「プラザイースト」多目的ルーム

さいたま市緑区中尾1440-8

参加費無料、先着 150 名、申し込み不要



「縄文時代の馬場小室山遺跡の想像図」井山絃文 マスコットキャラクター「オムちゃん」とムロさま」井山真里

プログラム (予定)

- 10:15 【基調講演】 馬場小室山遺跡と最先端の縄文考古学
阿部 芳郎氏 (明治大学文学部教授)
- 11:15 【入門講座】 「漆」の話 —— 「見沼文化」を豊かにした縄文時代のハイ・テクノロジー ——
神谷 嘉美氏 (明治大学理工学部助手・漆 工芸作家)
- 11:50 【市民交流会】 馬場小室山遺跡と最先端の縄文考古学
・隣接の展示室にて、馬場小室山遺跡の資料や最先端の縄文考古学などについて
パネルなどによる展示解説を行います。解説員がご質問などにもお答えします。
<<<【お昼休み】は適宜お取り頂きます。>>>
- 14:00 【さいたま市のパブリック・アーケオロジー】 馬場小室山遺跡と「見沼文化」と漆工芸
(1) 「映像考古学」による記録と継承 浅野 光彦氏 (映像プロデューサー)
(2) 音楽による追憶と継承 飯塚 邦明氏 (東大能研、実行委員会事務局長)
(3) 「見沼文化」への新たな眼差し：赤と黒の縄文世界と縄文土器との対話
井山 絃文氏 (画家)
井出 政男氏 (造形作家・ギャラリー「風画」)
(4) 「見沼文化」の漆工芸や「オムちゃん」と「ムロさま」の考古学など
五十嵐 聡江氏 (葛飾区郷土と天文の博物館) ほか

語りつく
馬場小室山遺跡

主催：「馬場小室山遺跡に学ぶ市民フォーラム」実行委員会

後援：さいたま市・さいたま市教育委員会 (予定)

事務局 〒336-0911 さいたま市緑区三室1972-9 東大能研内 電話 048-874-3159